

2018年度 第3四半期報告の概要

2019年2月14日
明治安田生命保険相互会社

I. 2018年度第3四半期業績のポイント

明治安田生命グループ・単体ともに「増収増益」、基礎利益はグループ・単体ともに2年連続「過去最高益」を更新

保険料等 収入

- グループ保険料は、明治安田生命単体およびスタンコープ社の増収等により、2兆3,063億円と前年同期比3.7%の増加
- 明治安田生命単体では、2017年8月に発売した外貨建て一時払保険の貢献等により、2兆700億円と前年同期比3.6%の増加

基礎利益

- グループ基礎利益は、明治安田生命単体およびスタンコープ社の増益等により、4,734億円と前年同期比20.3%増加し、第3四半期ベースで2年連続「過去最高益」を更新
- 明治安田生命単体では、外国公社債の残高積み増しによる利息及び配当金等収入の増加等により、4,330億円と前年同期比19.7%増加し、第3四半期ベースで2年連続「過去最高益」を更新

健全性

- 連結ソルベンシー・マージン比率は、1,005.6%と引き続き高い健全性を維持
- 明治安田生命単体では、950.5%と前年度末差12.6ポイントの増加

2018 年度業績 見通し

明治安田生命グループ・単体ともに2年連続の「増収増益」、基礎利益は2年連続「過去最高益」を更新する見通し

- 2018年度のグループ保険料・基礎利益見通しは、2018年度上半期報告時から変更なし
- 保険料等収入は、外貨建て一時払保険や、第三分野商品の拡販等により、グループ・単体ともに、前年度から増加の見通し
- 基礎利益は、明治安田生命単体の利息及び配当金等収入の増加等により、グループ・単体ともに増加し、2年連続「過去最高益」を更新する見通し

Ⅱ. 明治安田生命グループの業績

グループ保険料、グループ基礎利益、連結ソルベンシー・マージン比率

○グループ業績は、明治安田生命単体の増収増益に加え、スタンコープ社の貢献等により、2年連続の「増収増益」。特に基礎利益は第3四半期ベースで2年連続「過去最高益」を更新

○連結ソルベンシー・マージン比率は、1,005.6%と引き続き高い健全性を維持

■ グループ保険料

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期連結累計期間		2017年度 第3四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ保険料 ^(注1)	23,063	+3.7%	22,250
明治安田生命単体	20,700	+3.6%	19,984
海外保険事業等 ^(注2)	2,363	+4.3%	2,266
うちスタンコープ社	2,179	+4.5%	2,085

■ グループ基礎利益

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期連結累計期間		2017年度 第3四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ基礎利益 ^(注3)	4,734	+20.3%	3,934
うち明治安田生命単体	4,330	+19.7%	3,619
うち海外保険事業等 ^(注2)	470	+28.4%	366
うちスタンコープ社	345	+37.6%	251

■ 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：%)

	2018年度 第3四半期連結期間末		2017年度末
		前年度末差	
連結ソルベンシー・マージン比率	1,005.6	+15.4ポイント	990.2
(参考) 明治安田生命単体	950.5	+12.6ポイント	937.9

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) 海外保険事業等は、国内生命保険事業以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月

(注3) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

1. 保険料等収入、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料

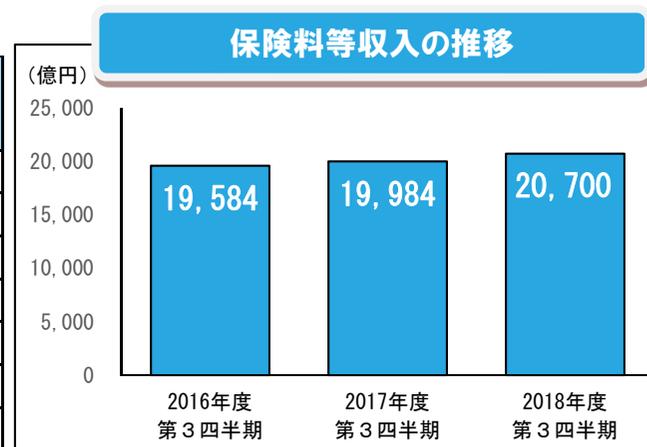
○保険料等収入は、2017年8月に発売した外貨建て一時払保険の貢献等により、2兆700億円と前年同期比3.6%の増加

○新契約年換算保険料は、外貨建て一時払保険に加え、第三分野商品の販売好調等により前年同期比16.5%の増加

■ 保険料等収入の状況

	2018年度第3四半期累計期間		2017年度第3四半期累計期間	
		前年同期比		
保険料等収入	20,700	+3.6%	19,984	
うち個人保険・個人年金保険	13,940	+11.2%	12,538	
うち営業職員チャンネル	10,599	+7.5%	9,859	
平準払商品	9,116	+1.7%	8,964	
一時払商品	1,483	+65.8%	894	
うち銀行窓販チャンネル	3,063	+27.4%	2,405	
うち団体保険・団体年金保険	6,477	△9.5%	7,161	

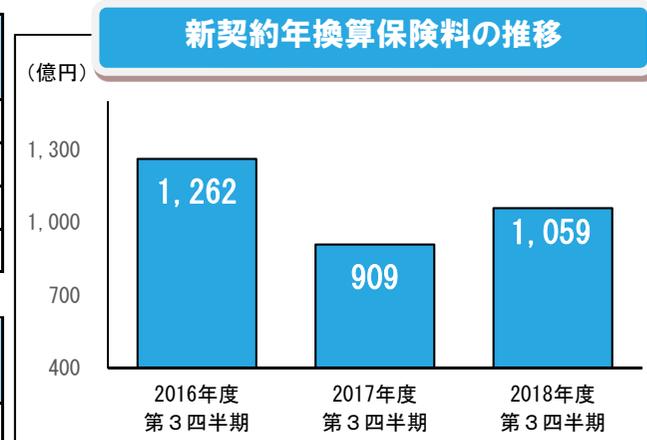
(単位：億円)



■ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

	2018年度第3四半期累計期間		2017年度第3四半期累計期間	
		前年同期比		
新契約年換算保険料	1,059	+16.5%	909	
うち営業職員チャンネル	891	+16.8%	763	
うち銀行窓販チャンネル	150	+17.8%	128	
うち第三分野	419	+50.2%	279	

(単位：億円)



■ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

	2018年度第3四半期会計期間末		2017年度末	
		前年度末比		
保有契約年換算保険料	22,652	+0.6%	22,511	

(単位：億円)

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

2. 基礎利益

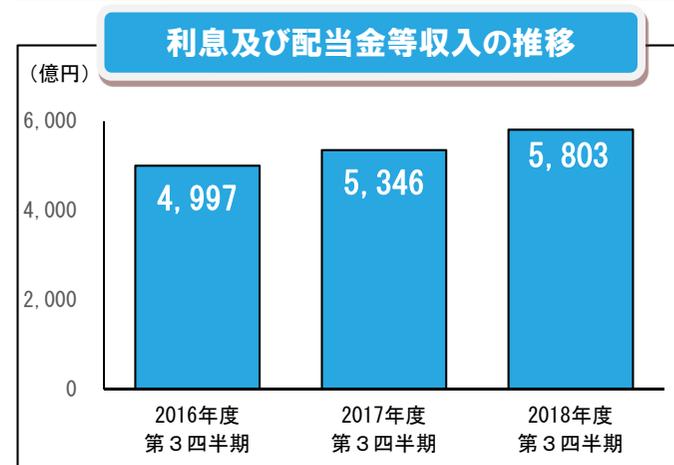
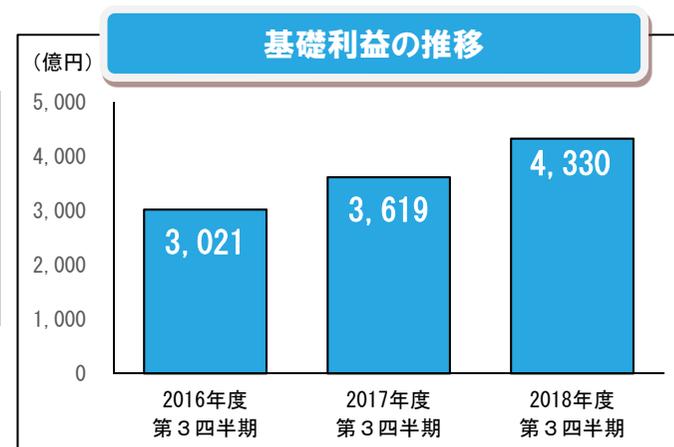
○基礎利益は、外国公社債の残高積み増しによる利息及び配当金等収入の増加等により、4,330億円と前年同期比19.7%増加し、第3四半期ベースで、2年連続「過去最高益」を更新

■ 基礎利益等の状況

	2018年度 第3四半期累計期間	
		前年同期比
基礎利益	4,330	+19.7%
うち利息及び配当金等収入	5,803	+8.5%

(単位：億円)

2017年度 第3四半期累計期間
基礎利益
うち利息及び配当金等収入



Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

3. ソルベンシー・マージン比率、実質純資産額、オンバランス自己資本

○ソルベンシー・マージン比率は、950.5%と前年度末差12.6ポイントの増加

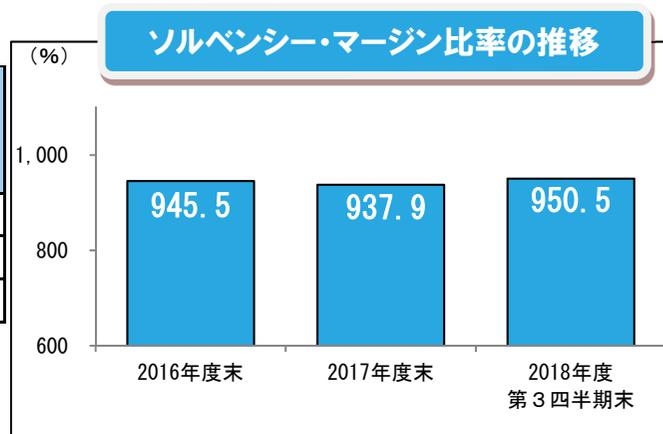
■ ソルベンシー・マージン比率

	2018年度 第3四半期会計期間末	
		前年度末差
ソルベンシー・マージン比率 ^(注1)	950.5	+12.6ポイント
ソルベンシー・マージン総額(A)	74,587	△1,553
リスクの合計額(B)	15,694	△542

(注1) ソルベンシー・マージン比率=(A)/(1/2×(B))×100

(単位：%、億円)

2017年度末
937.9
76,141
16,236

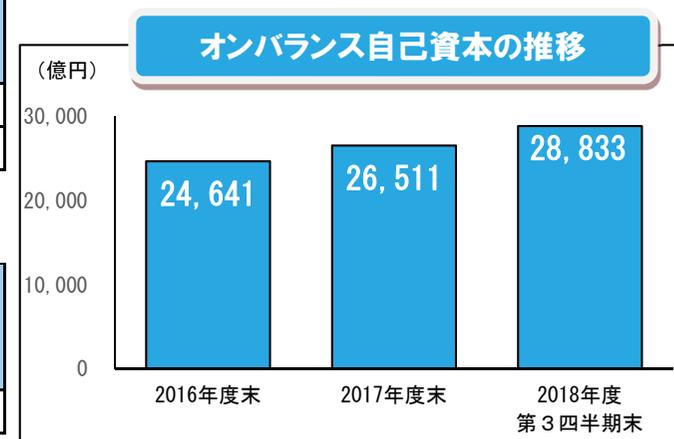


■ 実質純資産額

	2018年度 第3四半期会計期間末	
		前年度末差
実質純資産額	94,864	△3,410
一般勘定資産に対する比率	24.7	△1.3ポイント

(単位：億円、%)

2017年度末
98,275
26.1



■ オンバランス自己資本

	2018年度 第3四半期会計期間末	
		前年度末差
オンバランス自己資本 ^(注2)	28,833	+2,321

(注2) 所定の内部留保と外部調達資本の合計額

(単位：億円)

2017年度末
26,511

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

4. 契約クオリティ(解約・失効・減額率、総合継続率)

- 契約クオリティを示す指標は、引き続き良好な水準
- 解約・失効・減額率は、2.82% (前年同期差+0.18ポイント)
- 総合継続率は、13月目・25月目総合継続率ともに高水準を維持

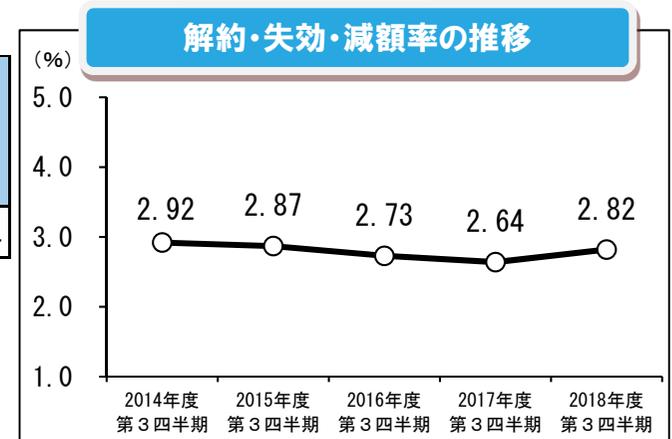
■ 解約・失効・減額率^(注1)の状況(個人保険・個人年金保険)

	2018年度 第3四半期累計期間	
		前年同期差
解約・失効・減額率	2.82	+0.18ポイント

(注1) 年度始保有契約年換算保険料に対する解約・失効・減額年換算保険料の割合

(単位: %)

2017年度 第3四半期累計期間
2.64



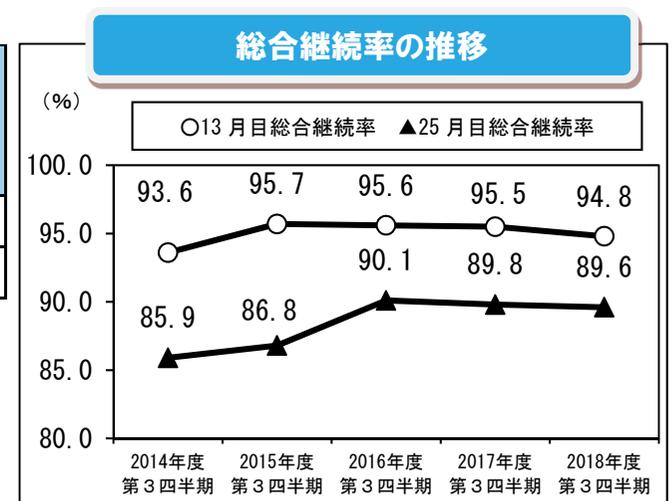
■ 総合継続率^(注2)の状況(個人保険・個人年金保険)

	2018年度 第3四半期累計期間	
		前年同期差
13月目総合継続率	94.8	△0.7ポイント
25月目総合継続率	89.6	△0.2ポイント

(注2) 総合継続率は、契約高ベースにて算出

(単位: %)

2017年度 第3四半期累計期間
95.5
89.8



Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

5. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

○一般勘定資産全体の含み損益は、国内株価の下落に伴い、株式の含み益が減少したこと等から、5兆7,569億円（前年度末差△4,256億円減少）

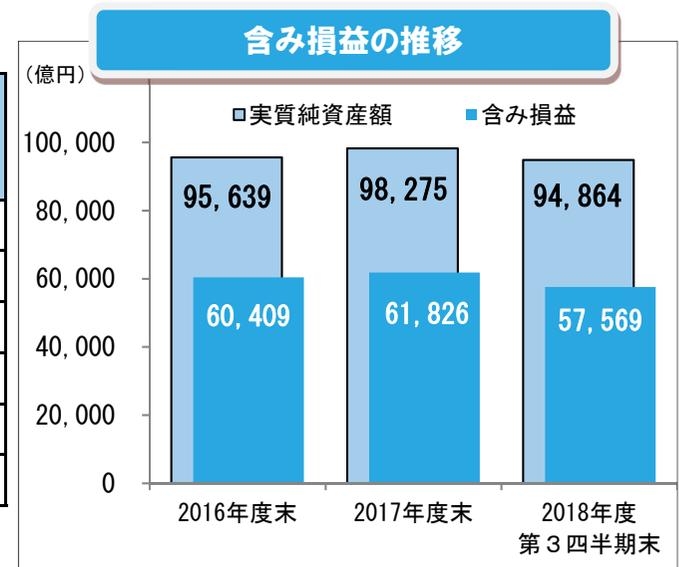
○国内株式含み損益ゼロ水準は、TOPIXベースで670ポイント程度

■ 一般勘定資産全体の含み損益

	2018年度 第3四半期会計期間末		2017年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	57,569	△4,256	61,826
うち時価のある有価証券 ^(注1)	53,238	△4,648	57,886
うち公社債	25,960	△461	26,421
うち株式	22,581	△4,097	26,678
うち外国証券	4,404	297	4,106
うち不動産	4,256	153	4,103

(注1) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

(単位：億円)



■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオがTOPIXにフル連動とした場合

	2018年度 第3四半期会計期間末 ^(注2)	2017年度末
TOPIXベース	670ポイント程度	660ポイント程度

(注2) 日経平均株価ベースでは9,000円程度

IV. スタンコープ社の業績

スタンコープ社の保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益

- 保険料等収入は、主力である団体保険事業が堅調に推移したため、2,179億円と前年同期比4.5%増加
- 基礎利益相当額は、団体保険事業の給付率低下による収益改善を主因に、345億円と前年同期比37.6%増加

■保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益の状況^(注1)

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計期間		前年同期比	2017年度 第3四半期累計期間
保険料等収入	2,179	+4.5%		2,085
基礎利益相当額 ^(注2)	345	+37.6%		251
当期純利益 ^(注3)	208	+311.1%		50

(注1)スタンコープ社は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月分

(注2)基礎利益相当額は、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前の税引前利益からキャピタル損益や責任準備金の積み増し等の一時費用を控除したもの

(注3)買収会計適用後

※2017年度第3四半期は2017年9月末の為替レート(1米ドル=112.73円)、2018年度第3四半期は2018年9月末の為替レート(1米ドル=113.57円)で円換算

V. 業績見通し

2018年度業績見通し

○2018年度のグループ保険料・基礎利益見通しは、2018年度上半期報告時から変更なし

○保険料等収入は、2017年8月に発売した外貨建て一時払保険や、第三分野商品の拡販等により、グループ・単体ともに、前年度から「増加」の見通し

○基礎利益は、明治安田生命単体の利息及び配当金等収入の増加等により、グループ・単体ともに「増加」し、2年連続「過去最高益」

■グループ保険料の見通し

	2018年度見通し	前年度比	2017年度実績
グループ保険料 ^{(注1)(注3)}	32,000億円程度	増加	30,243億円
うち明治安田生命単体	29,000億円程度	増加	27,194億円
うちスタンコープ社	2,800億円程度	横ばい	2,811億円

■グループ基礎利益の見通し

	2018年度見通し	前年度比	2017年度実績
グループ基礎利益 ^{(注2)(注3)}	6,100億円程度	増加	5,851億円
うち明治安田生命単体	5,700億円程度	増加	5,467億円
うちスタンコープ社	350億円程度	横ばい	359億円

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

(注3) 業績見通しにおける想定為替レート：対米ドル110円

■企業価値（EEV）の見通し

	2018年度末見通し	2017年度末
企業価値（EEV）	年平均6%程度増加	49,405億円